

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもトレーニングひろば第二校（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		～ 令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学1年生～高校3年生という幅広い年齢層が同じ空間で過ごすことにより幅広い世代のお友達と交流することができる	＜クラス分けの実施＞ 個別、少人数、大人数の3クラス ソーシャルスキル、感覚統合・運動支援、発達支援の3クラス どのクラスでの活動が利用児にとって大切かを一人ひとり検討しクラス分けして療育を実施	取り組み始めて数ヶ月程度であるためPDCAサイクルでより良い療育にしていきたいと思います
2	同一法人内に児童発達支援事業と放課後等デイサービス（こどもトレーニングひろば第一校）の多機能型事業所があること	第一校の児童発達支援に通所している児童が小学校に進学する時に事前に情報を共有することができるためスムーズに第二校の方へ移動することができる	事業所間の交流が少ないようにも感じているため今後は利用児も含めた交流の機会を増やしていきたいと思います
3	多職種連携（保育士、児童指導員、PT、OT、ST）	いろいろな職種からの意見を総合的にまとめた上で療育内容に取り入れていくようにしている	職員での研修会において、多職種からの目線で意見を言い合えるようにしていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者参加型の研修会が少ない	保護者参加型のイベントが少なく交流する機会の提供ができていない	保護者参加型の研修会を実施すること 保護者同士が交流できる機会の提供
2	他事業所との交流が少ない	こども部会などに研修会の時にしか話ることがない 外部との連携不足	当事業所自身で交流の場を作ることから始めていきたいと考えている
3	学童や地域などの外部との交流が少ない	感染症などの影響で控えることが多かった	感染症が落ち着くタイミングで交流する機会を作っていくことが必要